



宮崎 昌宗 議員

子どもたちによりよい教育環境を

坪根町長 十分に担当課を通じて考えている

岡上毛町の教育施策に対する認識は。

道免教育長 他市町でも勤務してきたが、他にない特色のある施策を打っているなど非常に興味を持つとともに、教育の大切さ、意義について感じていた。特に上毛塾は、すばらしい取り組みだと感じている。本年度から総合教育会議という場もあり、十分協議し今後の政策を考えていきたい。

小学校の指導方針は。

道免教育長 対処法的な指導ではなく、普段から子どもたちが様々な活動に自ら主体的に参加する指導方法を取り入れたシステムを構築している。

小学校が4校あり、いずれも小規模であるが、教育上支障はないか。

道免教育長 小規模校として長所と短所があるが、目が行き届きやすく、児童相互の交流も深まり、役割が多いため自尊心が高まるといった長所を生かした教育を行いたい。

子どもの貧困が全国的な問題となっている。本町の取り組みは。古原教務課長 就学援助として、生活保護を受けている要保護世帯と、生活が苦しい準要保護世帯(所得額がおおむね300万円以下)を対象に援助を行っている。援助

内容は国の基準に準じ、新入学児童生徒の学用品、通学用品、校外活動費、給食費、修学旅行費、医療費である。

国の基準では、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費が援助費目になっていないが実施しないのか。

古原課長 確かに国の基準はあるが、近隣市町の支援状況などバランスをみながら今後、検討していきたい。

近隣市町とバランスを考えているようでは九州一輝く町にはならないのでは。前述の三項目は交付税の算定基準でもある。制度化すべきでは。

岡崎総務課長 教務課の方で、特別施策として進める政策提案などがあれば、財政側として検討したい。

町長が提言する「世界に羽ばたく人材」をいかに育てるのか。

坪根町長 世界に羽ばたくためには、まず世界を知らなければならぬ。パンコクに子どもたちを連れていくことも、その一つと考えている。引率する大人自身が道標となり、頼もしい後姿を見せていくことが教育の基本と考える。

地域で輝く人材も育てるべきでは。地元で働き、伝統文化の継承や、防災への貢献、環境保全に取り



南吉富小授業風景

農地の防災対策は

岡本町の防災重点ため池※は。垂水(勇)産業振興課長 町内には、矢方甲池(矢方)、大迫池(土佐井)、池田池(上唐原)、小山田池の三(下唐原)、大池(下唐原)の5か所ある。

平成26年ため池の設計基準が改定されたが、耐震性は大丈夫か。

垂水課長 大迫池、池田池、小山田池は県の調査で安全性が確保されていると報告を受けている。矢方甲池と大池は調査していないが、堤体改修時に耐震化に基づいた整備をしているので、県は一定の耐震性があると判断している。

※防災重点ため池
堤高10m以上、貯水量10万m³、決壊した場合に人的被害を及ぼす恐れがあるため池。



矢方池



三田 敏和 議員

集落内の道路も広くすべきでは

福本建設課長 地域の要望を受け、取り組む

岡上毛町の準都市計画はどのよう

福本企画情報課長 将来における都市としての機能、開発及び保全に支障が生じる恐れがあると認められている一定区域(山間部を除く23km²余り)を県が平成20年に指定した。

総合計画に見直しを検討する

福本課長 現段階で支障が特にないので見直しの計画はない。

指定があることで開発の阻害

福本建設課長 町づくりの中で道路整備は必要。区域内で幅員が確保できない分については、今後国の補助事業なども検討しながら進める。

川口副町長 将来的に開発の見込みがあるという

川口副町長 将来的に開発の見込みがあるというので、県が指定するが実際の開発行為と若干の差異がある。ただ、当然そのことを見込んで道路整備などの必要性は認識している。

人口増のため、家屋の建替え

がある場合、道路幅員などは将来構想を見据え、町が積極的に取り組むべきでは。

福本課長 基本的に町が地域の開発、道路整備などの構想をまとめ

ていきながら事業が発生した場合、財政などと協議を進めながら随時用地を確保するなどの検討が必要と考えている。

集落内の道路幅員も緊急車両

の通行などで整備が必要。人口増の観点から職員も将来を見据えた感覚を持って業務を遂行すべきでは。

川口副町長 当然そのとおりと考

えている。道路幅員整備は用地交渉など個々の課題、問題はあるが、用地先行は無理としても将来的には優先的にやっていきたい。

人口増への対応は

岡過去から人口増対策は行って

いるが、現状の強みと弱みをどう見ているか。

福本課長 強みは出生数の維持、製造業の従業員が多い、地元恋愛を感じている人が多い。弱みは若年女性数の減少、未婚者が多いなどで人口増につなげる戦略が完全にはできていない状況である。

岡「モンパーク」彩葉の状況は。

岡世帯数増の要因は分譲効果が

大きい。成功事例の弾みを今後、第二、第三と進めるべきでは。

坪根町長 当然、その方向で考えている。まずは完売を目指す。

各課における人口増のビジョ

ン。岡崎総務課長 総務課所管では

まず第一に各課が掲げる施策実現のための財源確保と考えている。犯罪が少ない町だが、地域防

災力を強化し、九州一犯罪の少ない町づくりをPRする。

福本課長 移住、定住を前提とし

た交流人口増を図るプログラムを推進、企業誘致を進める。

永野開発交流推進課長 大池公園

開発事業を通して交流人口を増やし、観光などの情報発信の拠点として人口増に繋げたい。

佐矢野住民課長 子育て世代や

若者向けに町営住宅の建替え、改修・補修事業を実施する。

垂水(英)子ども未来課長 6年

子育て支援センターで行っているベビーマッサージ



子育て支援センターで行っているベビーマッサージ

岡短中期の政策が必要と思

う。結婚して住んで頂くことを考えると、町主導で婚活を進めるべきでは。

福本課長 女性が安心して出産

できる環境づくりが大事。その前提として婚活も施策の一つと考えていきたい。

岡地元で働くことを条件に給付

型奨学金制度も必要と思うが。道免教育長 現行の要件の見直しを含め、給付型も一考すべきとして今後検討していく。